

分野	科目名	配当年次	開講期	
基礎分野	死生学	2年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (30時間)	30時間	大学 非常勤講師	無	
<b>授業の概要</b>	死を人間がどのように受け止め、どのように生きるのか、様々な角度から考える。			
<b>到達目標</b>	<p>「死生学」は英語の <i>thanatology</i> や <i>death studies</i> に対応する言葉で、直訳すれば「死」に関する学問・研究ということになりますが、実際には病や老いも含めて、私たちの生を縁取り、限界づける様々な問題を糸口に、あらゆる人がそれぞれの〈いのち〉に関わる問題を根本から問い直す開かれた営みとして関心を集めつつあります。</p> <p>この授業では、医療従事者をはじめ、終末期の患者やその家族、宗教者など、日々〈いのち〉の問題に向き合う人々の姿を通して、各人が自分自身の死生観を問い直す姿勢を養うことを目指します。また、ドラマやJポップなど、身近な素材を手掛かりに、現代の若者の死生観の一端を浮かび上がらせることも試みます。</p>			
<b>授業計画</b>	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	看護学生のエッセイから	講義	
	2	高まる〈死〉への関心と死生学の基本問題	〃	
	3	Jポップで考える若者の死生観（1）ソングリストを作ろう	〃	
	4	Jポップで考える若者の死生観（2）浮かび上がる共通項	〃	
	5	スピリチュアルケア：医療・看護と宗教の接点に立つ人々	〃	
	6	知っておきたい死生学のキーワード（1）	〃	
	7	医療ドラマに見る〈いのち〉の問題	〃	
	8	知っておきたい死生学のキーワード（2）	〃	
	9	世界の宗教と日本人の死生観	〃	
	10	映画「おくりびと」に見る現代日本人の死生観	〃	
	11	映画「最後の人生の見つけ方」に見るライフ・レッスン	〃	
	12	「バケツリスト」を作ってみよう	〃	
	13	死者とともに生きる人々：ドキュメンタリーを手掛かりに	〃	
	14	知っておきたい死生学のキーワード（3）	〃	
15	まとめ：改めて問い直す〈いのち〉の問題	〃		
<b>評価</b>	毎週、授業終了時に提出してもらう感想文と、全講義を終えた後に提出してもらう小レポート（全体を振り返るエッセイ）を総合して評価する。			
<b>参考文献</b>	授業内にて参考図書、推薦図書を紹介する。			
<b>備考</b>				